

「ふるさとの森フェスタ」が開催されました

令和4年11月3日（木：祝日）、「ながさき県民の森」のオートキャンプ場において、「ふるさとの森フェスタ」が、森林ボランティア活動の推進及びながさき森林環境税の周知を目的として開催されました。新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、午前の部200名、午後の部200名の人数に限り、それぞれ3時間との制限の中でしたが、参加された皆様には喜んでいただけたことと思います。

ステージイベントは「トランペット&ピアノ演奏」や「森の紙芝居クイズ」などが行われました。また、体験、展示・販売・飲食のブースには20数団体が出展しました。

長崎南部森林組合長崎支所では、木工工作、薪割体験、高性能林業機械ハーベスタの展示、タケノコや銀杏、くるみ等の販売を行いました。

木工体験でスパイスラックを作った子供さんは、「くぎ打ちは大変だったけど、うまくできたとおもいます。」、手伝ったお母さんは「いいのが出来ました、帰ってすぐ使います。」と話してくれました。薪割は初めの人ばかりで、上手に割った子供さんもいましたが、ほとんどが親子で割っていました。うまく割れたときは見ている人も拍手して一緒に喜んでいました。高性能林業機械にはたくさんの子供さんが試乗し、「操縦かんにさわられてうれしかった。」と話してくれました。たくさんの方がブースを訪れたので、組合職員は忙しく、昼食の時間も惜しんで対応しました。



木工工作



高性能林業機械試乗体験



まきわり体験



